

http://park11.wakwak.com/~fma/iren/index.html

2012 第46回衆議院議員選挙

市医連推薦候補、当選御礼

福岡市医連ニュース

福岡市医師連盟
福岡市早良区
百道浜1-6-9
委員長 江頭 啓介

推薦候補当選

いざ国政へ

選挙戦を振り返る

12月4日(火)に公示
同16日(日)に投票された
今回の衆議院議員選挙
は、短期決戦であり、候
補者達は準備もままなら
ないまま選挙戦を迎えた。
このような状況において、
新人候補である本連盟の
推薦候補は、現職候補と
比較し不利な戦局になる
と予想されていたが、蓋
を開けてみると現職に大
差を付け見事当選となつ
た。自民党が政権奪取し、
民主党が大幅に議席を失
う一方、民主党に迫る議
席を確保した日本維新の
会等、今回の選挙でいわ
ゆる「第二極」が台頭する
結果となり、今後、与党
自民党の政局の舵取りに
注目が集まるところであ
る。

今回の衆議院選挙の
投票率は59.32%となり、
前回は9.96ポイント下回

つた。この結果は、選挙直
前の新党結成等、政党の乱
立で各政党の政策が有権者
にとつて分かりづらく、争
点が霞んでしまったことが、
これまでの政治に対する関
心の低さに輪を掛ける形と
なつて現れたと言える。

福岡市医師連盟が推薦
を決定した3名の推薦候補
は、現職候補を破り3名全
員が当選を果たした(裏面
「開票結果」参照)。江頭委員
長は「当選した本連盟推薦候
補には、是非国政の場で我
々の意見を反映させて頂き
たい。我々連盟員も一丸と
なり、ともに医療再生に向
け協働していかなくてはな
らない。医療専門集団とし
て今後も引き続き提言や働
きかけを積極的に行い、国
民医療の更なる充実・発展
を目指していきたい。」とし
ている。

当選御礼

福岡市医師連盟

委員長 江頭 啓介

始めに、今回の選挙にお
ける皆様方の絶大なるご支
援とご協力に心から深く感
謝申し上げます。

ご存じのとおり、先月16
日に衆議院が突如解散さ
れ、誰もが意表を突かれる
ような選挙戦に突入したわ
けですが、公示から僅か2
週間足らずの短期決戦にも
拘わらず、連盟員をはじめ
とする関係者の皆様には、
過日各選挙事務所主催で開
催されました演説会など
多数ご参集を頂いた他、各
事務所にお立寄り頂くこと
で、推薦候補にも熱いご支
援の声をお掛け頂く等、真
情のこもつたご支援を賜り
改めて感謝申し上げます。
本連盟においては、国民
医療の実情と本連盟の活動
方針に理解を示す候補者を
推すことが重要であると考
え、市医連常任執行委員会
及び執行委員会にて、各選

挙区より1名の推薦候補を
決定しました。そして、推
薦候補3名全員が見事当選
を果たしたわけでありま
す。

これにより、医療現場の
実情に即した国民の健康・
福祉を最優先とする国民医
療の確立に向け、本連盟と
締結した「政策協定」裏面
参照)の下、必ずや本連盟
推薦議員各位の御活躍があ
るものと確信しております。
その為には、推薦議員
と本連盟との信頼関係を更
に強固なものとするものが
重要であり、正にこれこそ
が本連盟に課された使命で
あり責務であります。

最後になりましたが、国
民医療の更なる充実・強化
に向け、連盟員の皆様によ
り一層の団結と積極的なご
支援・ご協力を賜りますこ
とを心よりお願い申し上げ
ます。

第46回衆議院議員選挙開票結果

市医連推薦候補3名中3名当選

選挙区	結果	連盟推薦	氏名	届出政党等	前元新別	得票数
福岡1区	当選		井上 貴博	自由民主党	新	96,706
			竹内 今日生	みんなの党	新	45,014
			松本 龍	民主党	現	36,632
			比江嶋 俊和	日本共産党	新	15,992
			犬丸 勝子	無所属	新	5,762
福岡2区	当選		鬼木 誠	自由民主党	新	105,493
			稲富 修二	民主党	現	68,359
			頭山 晋太郎	日本維新の会	新	42,731
			倉元 達朗	日本共産党	新	14,115
			小谷 学	日本未来の党	新	11,442
福岡3区	当選		古賀 篤	自由民主党	新	118,299
			藤田 一枝	民主党	現	57,472
			寺島 浩幸	みんなの党	新	42,126
			川原 康裕	日本共産党	新	13,093

政策協定書（参考）

第四十六回衆議院議員総選挙において、医師会 太郎 候補と、福岡市医師連盟委員長 江頭 啓介 は次の内容について政策協定を締結する。

記

医師会 太郎 候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。
また、福岡市医師連盟は、医師会 太郎 候補の当選に向けて一致団結して取り組むものとする。

政策協定事項

- 一、国民医療の更なる充実・強化を図り、国民皆保険を堅持する。
- 一、経済格差等により、国民間で、医療・介護の享受に当たって格差が生じないよう万全の体制を講じる。
- 一、国民皆保険を崩壊へと導く市場原理主義は導入しない。
- 一、TPP問題については、将来にわたって日本の公的医療保険制度に影響を及ぼすことがないように措置する。
- 一、控除対象外消費税問題については、医療機関の負担にならない課税制度に改めるものとし、その際、患者負担を増やさない制度に改善する。
- 一、二次医療圏における地域医療再生に向けた基盤整備と、地域が抱える医療課題への早期取り組みを行う。
- 一、地域医療の重要な担い手である准看護師の積極的な養成を継続する。